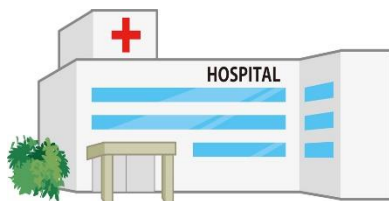


【地域特性に合わせたデータの見える化で、虚弱者の早期発見とケアの実現】 ストリートデザイン研究機構×明治大学大学院

生活に関するデータから、
虚弱者を発見！



データ提供

データベース
(運動・栄養・
社会性)

虚弱者発見



虚弱者の早期発見とケアで、
充実した介護予防の実施！

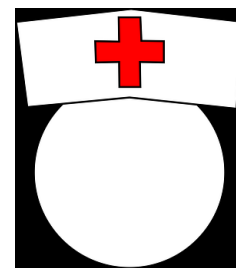
見える化

適切な
ケアの
実施

データを見える化して、
重点地域にアプローチ！



【ヒートマップ】



【アウトリーチチーム】

①データ公開状況（中野区）

【応募チームからの問い合わせに対する対応】

- 当区の地域包括ケアの方針や問題点について、より具体的な内容を教えて欲しいとの要望がありました。そこで、ヒアリングに回答する時間を設けて、当区の取り組みについて、補足資料を用いて、解説しました。
- 当区内の高齢者の虚弱者についてのデータを要求されました。そこで、平成26年度中野区実施 厚生労働省介護予防基本チェックリストの結果集計データをお渡ししました。

②市民／学生のサポート状況（中野区）

【応募チームからの問い合わせに対する対応】

- ①でお伝えした通り、公開データに関する詳細な説明と追加資料の提供を行いました。その際に、当区では虚弱者の早期発見を重要課題としていることをお伝えしました。

③市民／学生とのコミュニケーション（中野区）

【応募チームからの問い合わせに対する対応】

- 当区ではコミュニケーションの場を設けませんでしたでしたが、審査対象チームの方が、2017年12月11日にアイデアソンを開催されたので、職員3名が同席させていただきました。参加者の方々と議論を重ねながら、当区の状態などをお伝えしました。
- 普段職場では思いつかないようなアイデアがたくさん出てきたので、とても参考になりました。
- 今後も、このような場が設けられることを期待します。